

## 第4回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 平成23年3月22日(火)午後1時30分～午後3時00分
- 2 開催場所 京丹後市役所大宮庁舎 4階第2・3会議室
- 3 出席者 田中光浩委員、平井久夫委員、糸井秀太郎委員、  
吉江俊昭委員、城下圭介委員、藤田泰弘委員、富澤孝雄委員、  
足達礼三郎委員
- 欠席者 吉岡英一委員、今村純訓委員
- 事務局 米田教育長、吉岡教育次長、三浦館長、吉田課長、横島補佐、  
岡林主任
- 傍聴人 0人
- 4 内容
- (1) あいさつ
- (2) 議事
- ① 新指定文化財について 資料1
- ② 網野銚子山古墳追加指定について 資料2
- ・全国の前方後円墳について 資料3
- ③ その他
- ・平成23年春季企画展「子どもの節句展」 資料4

## 5 要旨

### ● あいさつ (米田教育長)

みなさんこんにちは。年度末の忙しい中、第4回の文化財保護審議会にお集まりいただきありがとうございます。東北地方で起きた大規模な地震により、多くの人命が失われたこと。また、福島第一原子力発電所の大変な災害と続いています。被害に遭われた多くの方のご冥福をお祈りしたいと思います。教育委員会では一昨日成人式を開催しました。大被害にあった大変な中、記念式典を開催してよいのか大変迷いましたが、被災地を元気付け、被災者を元気付けるような式典になるようプログラムを変更しました。式典前のアトラクションを中止し、黙祷に変え、新成人から被災地へのメッセージを伝えていく機会も設けました。二十歳の記念文集に原稿を寄せていただいた看護師志望の新成人に急遽メッセージをお願いした次第です。寒い日になりました。今年も残りわずかになりました。どうなるのかと心配をしていましたが参加いただいた方からも良い成人式だったと評価していただきました。新成人の中には晴れ着姿で

義捐金の募集活動に協力していただいた方もいます。大災害の中での成人式でしたが、自分自身の生き方、命の尊さを考える機会になったと思っています。丹後地方も昭和2年3月7日に丹後大震災を経験し、世界から救援物資等の支援をいただいて復興したという歴史を持っています。毎年震災記念展をこの時期に開催し、本年も210名の方に展示物を見ていただきました。市史編さん事業でも「丹後震災関連の資料集」が平成22年度末には刊行される予定です。本日は、新指定文化財の審議をお願いしています。どうか慎重審議をよろしく願います。

(平井会長) みなさんこんにちは。年度末のあわただしい中お集まりいただきありがとうございます。本日の議題は、新市指定文化財の審議・網野銚子山古墳の追加指定についての報告を予定しています。会議の都合で概ね午後3時過ぎには終了したいと考えています。本日もよろしく願います。

(事務局) 本日は、今村委員が急な葬儀で、吉岡委員も体調不良で、事前に欠席の連絡を受けていますので、ご報告いたします。それではこれより先の議事進行については、平井会長にお願いしたいと思っております。よろしく願います。

## 議事

### ①市指定文化財について（非公開）

新指定文化財に関する審議案件を公開することは、文化財所有者の利益を阻害する恐れや、委員の自由な発言が得られないため非公開とする。

### ②網野銚子山古墳追加指定について（公開）

(会長) 続いて、網野銚子山古墳の追加指定について、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局) — 経過報告 —

5月の国の審議会で審議され、認められれば追加指定が認められる。今後は今回追加できなかった一筆分の同意を取る作業を継続するとともに、官報告示後に有識者と地元の方で委員会を立上げ、基本整備計画を策定することになっている。

(会長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ありませんか。

(事務局) 続いて、本日、委員より資料を持参していただいています。委員より資料について説明をしていただきますのでよろしく願います。

(委員) 本日持ってきた資料は全国の前方後円墳に関するものです。全国には前方後円墳が、5766基あり、そのうち、前期のものは488基あります。その

うち近畿圏には、奈良県に 10 基、大阪府に 1 基、神戸市に 1 基、京丹後市に 1 基（神明山古墳、網野銚子山を前期と見れば一つ増え 2 基となる）存在しています。このことから、京丹後における古墳の見方を再検討できるのではないかと考えているので、参考までに資料として持参しました。

(会長) 事務局、委員の説明を含め、全体で何か意見はありませんか。

(委員) 網野銚子山古墳について、追加指定を予定している赤線の枠内には墓地も含まれていたと思うが、墓地も含めて整備をするのか。

(事務局) 古墳の施設として保護しなければならない範囲を今回追加指定の範囲としている。整備の範囲については基本整備計画策定委員会で地元の意見を取り入れながら考えることとなります。したがって追加指定の範囲と整備の範囲は原則として異なると思ってください。

(委員) 追加指定される用地は買収したのか。

(事務局) 今年度は追加指定するための所有者の同意をもらい、国へ申請する書類を作成するに留まっています。また、同意と並行して今後の事業進捗がスムーズに進むようそれぞれの土地の境界確定測量は実施しました。

(委員) 一筆追加指定ができなかった場所については今後どのようにするのか。

(事務局) 来年度も引き続き追加指定の同意を求めていくつもりですが、最悪同意が得られない場合は、整備対象からはずすことも検討しなければなりません。この筆は地元に残っておられる方の同意は得られたのですが、相続登記がされていないので、遠隔地の親族の同意も必要になったため、今年度中にできなかったものです。

(委員) 墳丘の反対側の崖部分を追加指定からはずしている理由は。

(事務局) 事前の発掘調査で網野銚子山に関係する遺構がなく、古墳の施設はないものと判断したためです。

(会長) ほかに意見はありませんか。特に無ければ本日の審議を終了させていただきます。

(事務局) ありがとうございます。

### ③その他（公開）

・平成 23 年春季企画展「子どもの節句展」について

(館長) 最後に一つ。本日郷土資料館で行う春季企画展「子どもの節句展」の資料を持参しました。珍しいのぼり旗もたくさん展示していますので、是非見学にお越し下さい。

(事務局) 富澤副会長より閉会のあいさつをお願いします。

●閉会あいさつ（富澤副会長）

今年一年審議会では審議をいただき、ありがとうございました。いろいろとご意見をいただきながら、審議の結果、本日ようやく新指定文化財の候補物件を決定するにいたりました。来年度以降も地元への協議等もしっかりとしていきながら、新指定に向けた取組みを続けていきたいと思っております。本日はご苦勞様でした。